

(独)国際協力機構(JICA)研修員の視察受入について

千葉県水産総合研究センターでは、独立行政法人国際協力機構(JICA)からの依頼を受け、平成20年8月27日(水)に、視察を受け入れました。

この視察は、JICAがアジア、太平洋、アフリカ、中南米の水産関係業務に携わる研究員に、日本の漁業・漁村振興の経験を踏まえて、自国の漁業コミュニティの活性化のための計画運営能力や持続可能な漁業開発、組織作りについての知識や技術を習得してもらうことを目的に行う、集団研修「漁業コミュニティ開発計画」の一環として行われ、当日は10名の様々な国からの研究員が当センターを訪れました。

当センターでは、事業の概要、資源のモニタリング手法、及び資源管理に関わる技術開発内容について説明を行い、各国の研究員からは活発な質問もありました。

当研修は、7月14日から10月1日まで行われ、研修後半では、アクションプランの作成、評価等のプログラムも含まれているとのこと。

各国研究員の日本での研修が、自国での漁業コミュニティ開発において有益なものとなることを期待いたします。

